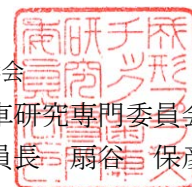


2021.12.13

委員各位

公益社団法人 精密工学会
成形プラスチック歯車研究専門委員会
委員長 扇谷 保彦



第147回研究会，総会，技術，特別講演のご案内

首題の研究会を，下記の要領で開催しますので，ご参加の程よろしくお願いたします。

- 記 -

- 日時：2022年02月25日(金)，13:00～17:00
- 場所：アルカディア市ヶ谷（東京，市ヶ谷），ハイブリッド方式
研究会，総会，特別講演：「琴平」7階
30周年記念パーティ：「阿蘇」6階
(WebEX 会議アドレスは，2022年2月第3週にお送りします)
- 委員長挨拶 13:00～13:05
長崎大学 扇谷 保彦 委員長
- プロジェクト小委員会報告 13:05～14:30
概要説明 プロジェクト小委員会 射場大輔 委員長
 - WG1 報告：プラスチック歯車の歯面形状と運転性能
岡山理科大学 關 正憲 委員
プラスチック歯車の歯面間減衰を測定するために，歯車運転試験機へのスリップリングの設置を検討した。また，樹脂材料と金属材料の減衰振動を測定したので，その測定結果について報告する。
 - WG2 報告：かみ合い過程におけるかみ合い剛性の変化抑制によるプラスチック平歯車の低騒音化の検討 長崎大学 扇谷 保彦 委員
プラスチック歯車の低騒音化には，金属歯車と同様に歯形修整が有効であると考えられる。しかし，プラスチック歯車の歯形修整においては，歯面摩耗，温度変化に伴う熱膨張やヤング率の変化などについての考慮が必要になると考えられる。本研究では，歯車騒音が主としてかみ合い過程におけるかみ合い剛性の変動に起因して発生することやプラスチック歯車は比較的歯車形状を柔軟に設定できることに着目し，歯にスリットを設けるなどしてかみ合い過程におけるかみ合い剛性の変動を抑制することによる低騒音化の可能性を検討した。報告では，FEM による静解析およびかみ合い試験の結果に基づいて検討した内容を述べる。
 - WG4 報告：プラスチック歯車の間欠運転における寿命推定法の検討
木更津工業高等専門学校 高橋 美喜男 委員
これまで取り組んできた，プラスチック歯車耐久試験自動運転システム開発の現状，プラスチックねじ歯車対での間欠運転の試験結果について報告する。さらに，新たに取り組み始めた金属ウォームとプラスチックヘリカルホイールの自動運転化と，間欠運転の試験結果について報告する。
- 2022年度総会 14:05～14:35
議案
 - 委員長交代
 - 入・退会について

- (3) 2021 年度事業報告
- (4) 2021 年度会計報告
- (5) 2021 年度会計監査報告
- (6) 2022 年度事業計画案
- (7) 2022 年度予算案
- (8) その他

※ 2022 年度総会を欠席される方は、別紙の **委任状** を送付願います。

※ 総会の決議

会場参加の方は挙手で、Web 参加の方は WebEX の拍手機能で採決させていただきます。
賛成される方は図 1 の 🍃 を押していただき、賛成されない方は 🗣️ を押してください。



図 1 WebEX 拍手機能

<休憩>

15:40～16:00

6. 特別講演

16:00～17:00

演題：科学技術は誰のもの？ —歴史を振り返って考える—

佐倉 統 教授（東京大学大学院情報学環／理化学研究所革新知能統合研究センター）

新しい技術の実用化が近づくと、「その技術によって社会はどう変わるか？」に注目が集まるが、ここでいう「社会」とは何なのか？ そもそも科学研究や技術開発は誰にとってのものなのか？ 歴史を振り返って、その来し方行く末を考えてみたい。科学技術の研究者や開発者が想定していた主たる利用者・受益者および支援者は、ざっくりまとめると、専制君主（17 世紀）→専門家と公益（18～19 世紀）→国民国家（20 世紀）→民間企業（20 世紀後半）と変わってきた。このような経緯を踏まえると、これからは「生活者のための科学」と「価値のための科学」が重要になってくると考える。その見通しと、その際に留意すべき点を検討する。

参加申し込み

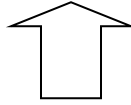
準備の都合上 2022 年 02 月 16 日(水)までに下記事務局まで e-mail でお申込みください。

2022 年度予定表

- 2022.02.25(金)：第 147 回研究会，総会，特別講演，30 周年記念パーティ
- 2022.04.22(金)：第 148 回研究会
- 2022.06.10(金)：第 200 回運営委員会，第 149 回研究会
- 2022.07.22(金)：第 201 回運営委員会，第 26 回講習会
- 2022.10.07(金)：第 41 回見学会
- 2022.12.09(金)：第 203 回運営委員会，第 150 回研究会
- 2023.02.24(金)：第 204 回運営委員会，第 151 回研究会，総会，技術講演，特別講演

－問い合わせ・申込み先－

公益社団法人 精密工学会 成形プラスチック歯車研究専門委員会 幹事 上田まで
〒552-0007 大阪市港区弁天 1-2-30 プリオタワー4305
tel:06-6576-3519 fax:06-6577-1554
e-mail: ueda@amtecinc.co.jp



FAX 06-6577-1554
e-mail: ueda@amtecinc.co.jp

公益社団法人 精密工学会
成形プラスチック歯車研究専門委員会

2022 年度総会を欠席される方は、下記の **委任状** を送付願います。

.....
成形プラスチック歯車研究専門委員会 委員長 殿

委 任 状

当社
私 は、 _____ を代理人と定め

2022 年度総会についての事項を一切、委任いたします。

住所：

所属：

氏名： _____ 印

－問い合わせ・申込み先－

公益社団法人 精密工学会 成形プラスチック歯車研究専門委員会 幹事 上田まで
〒552-0007 大阪市港区弁天 1-2-30 プリオタワー4305
tel:06-6576-3519 fax:06-6577-1554
e-mail: ueda@amtecinc.co.jp

2021年12月吉日

各位

公益社団法人 精密工学会
成形プラスチック歯車研究専門委員会
委員長 扇谷 保彦
記念式典実行委員長 森脇 一郎

拝啓、初冬の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「成形プラスチック歯車研究専門委員会」は、来年1月31日をもちまして設立30周年を迎えます。この30年間のプラスチック歯車の研究、技術の発展には目覚しいものがあり、委員会もその一翼を担ってきたと自負しています。これもひとえに皆様方の絶大なるご支援の賜物と深く感謝しております。

皆様方のご厚情に感謝の気持ちを込め、ささやかではございますが下記の要領にて設立30周年記念式典を開催いたしたく存じます。ご多忙中のところ誠に恐縮とは存じますが、是非ともご来臨いただきたく、ここに謹んでご案内申し上げます。

敬具

- 記 -

30周年記念式典 ご案内

日 時：2022年02月25日（金）

場 所：アルカディア市ヶ谷

〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号（別紙地図をご覧ください。）

TEL 03-3261-9921

・ **特別講演**：7階「琴平」16:00～17:00

科学技術は誰のもの？ —歴史を振り返って考える—

佐倉 統 教授

東京大学大学院情報学環／理化学研究所革新知能統合研究センター

・ **記念パーティ**：6階「阿蘇」17:30～20:00

お手数ですが、準備の都合上、2022年2月14日(月)までにご回答をいただきますようお願い申し上げます。

※ 申し込みは、研究会開催案内に付属する出欠連絡票でお申込みください。

※ 本書は記念式典の案内書です。研究会案内書は別にお送りします。

連絡先

公益社団法人 精密工学会 成形プラスチック歯車研究専門委員会
幹事 上田 昭夫

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 プリオタワー4305

tel 06-6576-3519 fax 06-6577-1554

E-mail: ueda@amtecinc.co.jp



地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1 または A1) 出口から徒歩2分

地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 (A1 または A4) 出口から徒歩2分

JR 中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分